



※  は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。



女子プロゴルファーが市内で合宿

8月22日から25日までの4日間、女子プロゴルファーをはじめ市内で強化合宿を行いました。

これは、産学官連携によりプロスポーツ選手の合宿を誘致する事業で行われたもの。合宿期間中は鹿屋体育大学のハイスピードカメラやモーションキャプチャーなどの最新設備による動作分析や、競技力向上を図るためのトレーニングが行われました。



バレーボール教室を開催

8月13日、Vチャレンジリーグ大野石油広島オイラズが、市体育館で市内女子高校生を対象としたバレーボール教室を開催。教室では、ポジションごとに別れて専門的な技術指導を受けたほか、怪我をしにくいトレーニング方法などの説明もあり、学生は真剣な表情で聞き入っていました。最後は学生の試合に選手が混ざり真剣勝負を行って、盛り上がりました。



輝北 猛暑に負けず白球を追いかける

8月3日・6日の2日間、輝北町民運動場などで「第57回大隅地区中学新人野球大会」が開催され、出場した肝属地区の17チームは、猛暑に負けず熱戦を繰り広げました。また、開催地の輝北中学校は、田代中との合同チームで出場し、準優勝と健闘しました。

○優勝＝第一鹿屋中学校 ○準優勝＝田代・輝北中学校（合同）
○3位＝吾平、垂水中央中学校



中学生が未来を描く地域デザインコンテスト

8月31日、市文化会館で、中学生が地域の未来を描く、地域デザインコンテストが開催されました。鹿屋青年会議所50周年記念事業として行われた発表会には、市内の5中学校が参加。資料を読むだけでなく、ゆるきゃらやPRビデオを用いたりして、完成度の高いプレゼンが行われ、最優秀賞には輝北中学校の1泊2日で輝北を巡るバスツアーが選ばれました。



立地企業等による連携会議を開催

8月29日、市内ホテルで市内の立地企業、高等学校及び関係機関から45人が参加し、相互の連携・協力の強化を目的に「鹿屋市立地企業ネットワーク&イノベーション会議」が開催されました。

会議では、製造業の動向についての講演やハローワーク、県による制度説明のほか、市の産業振興に永年貢献してきた立地企業に対する表彰が行われました。



古墳の出土品で歴史の奥深さを知る

8月11日から30日まで大隅半島各地の古墳を紹介する「大隅の古墳 再発見」と題する特別展がリナシティかのやで開催されました。

18日には、原口泉県立図書館長と中村耕治元県立埋蔵文化財センター次長によるギャラリートークも行われ、大隅半島に残る古墳や出土品などを詳しく解説。訪れた約60人の参加者は、古墳時代の大隅に思いを馳せていました。